

緑化だより

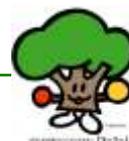
No.119 平成28年8月号



カンレンボク

- 季節の花(ヘクソカズラ)
- 野鳥の世界(ヨタカ)
- 昆虫の話(賑やかな夏の声)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

広島県緑化センター



広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

ヘクソカズラ

「皂莢(さうけふ)に 延(は)ひおほとれる 屎葛(くそかずら) 絶ゆることなく宮仕(みやつか)へせむ」 高宮王(たかみやの おおきみ)万葉集巻 16:3855

(サイカチの木にやたらと、まとわりついた、クソカズラさながらに、絶えることなくいつまでも、このつまらない役所勤めを続けよう)

奈良時代の貴族が歌に詠んだ気持ちは、自分を励まし決意を新たにしている歌でしょうか。今も昔も変わらぬ仕事にまつわる悩みが哀愁に満ち、しかもユーモラスに溢れているのが感じられます。とげのあるサイカチの木に巻き付いた可憐なクソカズラの花も愛おしさが募ります。

ヘクソカズラという植物は古くから知られていましたが、万葉集の中に「クソカズラ」として登場しているのはこの歌1首だけです。後に「屁」も付け加えられ「屁糞葛(ヘクソカズラ)」と呼ばれるようになりました。

ヘクソカズラ(アカネ科)は蔓植物で、道沿いやよく陽の当たる場所に、他の植物に絡みついて繁茂しています。葉は楕円形で対生し、花は8月頃咲きます。小さな筒状の合弁花で、先端が浅く5裂して、外側は灰白色、内側は赤紫色で毛が多く、ちいさいながら美しい花をつけます。花の名前を知ると「かわいそう」と誰もが驚かされます。葉や茎を揉むと嫌な臭気が出て二度と触りたくない感じで、「屁糞葛(へくそかずら)」の名前に納得します。秋には直径5ミリくらいの光沢のある球状の果実を付け、熟すと黄褐色になり、いつまでも枝に残っています。果実は昔から、しもやけ、あかぎれ、ひびに効くと言われていました。つるは趣味の籠編みの材料につかわれ、しっとりとした弾力があり、手になじみ編みやすいそうです。

赤くて丸い花が並んでいる姿から、田植えをしている早乙女の傘に見立てて、別名「サオトメバナ(早乙女花)」ともいわれます。また、花の内側の赤い部分を、お灸の火に見立てて「ヤイトバナ(灸花)」、悪臭があるため馬が食べないので「馬食わず」などの別名もあります。

最近では、家の庭やグラウンドのフェンスなどにも入り込んで、なかなか駆除が出来なく困った蔓植物となっています。緑化センターでも、明るい林縁で可愛いけれど、臭いヘクソカズラの花が普通に見られます。(上村)



へクソカズラの花



へクソカズラの実

野鳥の世界

ヨタカ

近年はヨタカの声聞く機会がめっきり少なくなりました。

5月末から6月の梅雨の頃、東南アジアから九州～関東に飛来し、秋に南方へ帰る夏鳥です。クチバシを横に広く開き、里山と農耕地の間の広い空間をゆったりヒラヒラと飛びながら、夜活動する昆虫を採食します。口元の堅いヒゲの感触で見分けているようで

す。営巣は林の中の小さな空地や林道の隅の地上にわずかな枯草でくぼみを作って産卵します。これでよく天敵に見つからずにすむと驚くほどです。営巣期以外は太い木の枝に、虫こぶにしか見えない低い姿勢で、平行して座るようにして止まり、日暮れを待っています。“キョッキョッキョッキョ”と長く続ける鳴き声は、まな板の上で野菜を刻む音のように聞こえ、姑が朝早くから朝食の支度をしているように嫁には聞こえることから「嫁泣かせ」と呼ぶ地方もあります。緑化センターのように林道や尾根道や広場がある地形はヨタカにとって理想的な環境ではないかと思われます。夜間、声や姿を見ることはあるのですが、繁殖の確認はまだありません。(吉見)



ヨタカ

昆虫の話

賑やかな夏の声

夏も本番、うだるような時期になりました。賑やかなセミの声はさらに拍車をかけています。セミは街の公園でも見ることができ、その鳴き声で存在を主張する、とても身近な昆虫のひとつです。

さて、皆さんにとって、セミの鳴き声はどんな鳴き声でしょうか。広島市内の中心部に住む人にとって、セミの鳴き声は「シャアシャアシャアシャア」というとても騒々しい声だと思います。この鳴き声の正体は「クマゼミ」です。クマゼミは都市部に多く見られ、山や森ではあまり見られません。暑い場所を好むクマゼミにとって山や森の中は涼しくて暮らしにくいのかもしれません。エアコンの排熱などの都市熱や開けた公園の熱せられた土壌がクマゼミの楽園を作りあげているのです。



クマゼミ

皆さんの中には「ミンミン」がセミの鳴き声だという人もいることでしょう。この鳴き声を発するセミの正体は「ミンミンゼミ」です。いかにも夏のセミの声といった感じですが、広島市街地に住んでいる方は、鳴き声を耳にしたことがない人も多いかもしれません。それもそのはず広島では山間部に見られ、都市部ではほとんど見られないセミです。

テレビや本に出てくるセミはどれも「ミンミン」と鳴いています。そのため、実際に見たことが無くてもミンミンゼミは有名です。それではなぜクマゼミではなくミンミンゼミなのでしょう。実はクマゼミは西日本の太平洋側から南に多く生息し、関東地方にはほとんどいない種なのです。そして、テレビ番組や本を作っている関東地方にはミンミンゼミが多く生息しているという理由があるからなのです。

子どもの頃、毎年夏になるとクマゼミを捕ってきて、親にうるさいと怒られていました。最近、夏にセミ捕りをして遊ぶ子どもの姿が見られなくなってきたことを少し残念に思います。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)

研修会のご案内

- 8月7日(日) 『木の実を使った自由工作』
どんぐりなどの自然素材で
自由発想な夏休み
※ 要予約(先着10組)・無料、
10:00~12:00 学習室 集合
講師：環境カウンセラー
正本 大
- 8月21日(日) 『夏休み木工教室』
スギの間伐材で小さなイスを制作
※ 要予約(先着20名)
・材料費 本棚2000円, 小さなイス1000円
10:00~12:00 学習室 集合
講師：ゆうもあファクトリー
岡部 茂
- 8月27日(土) 『秋の七草と自然探勝』
秋の七草の不思議
10:00~12:00 学習室 集合
講師：NHK文化センター
アシスタント
上村 恭子

◎ 展示会

場所:レストハウス
(ガラスケース展示)

- ・七宝焼作品展「七宝焼同好会」
~8月21日(日)
- ・フラワーアレンジメント
作品展「花舞台」
8月23日(火)~9月25日(日)

(ボード展示)

- ・愛鳥週間原画コンクール
入賞作品展
~8月7日(日)
- ・緑化センター写真コンクール
歴代入賞作品展
8月10日(水)~9月11日(日)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

~特別研修会~

“みんなで学ぼう
身近なイネ科草本の同定法”

9月26日(月) 13:00~15:00 学習室 集合
コーディネーター

森林インストラクター 駄賀 恒男

名前を知りたいイネ科の植物があればお持ちください

・ミストシャワー

多目的広場“ふれあいの池”で、涼しさを呼ぶシャワー遊びを楽しみませんか

・8月の土、日、祝日は5時まで開園します



七宝焼作品展より



過去の写真コンクール入賞作品展より